



「夢いっぱい 花いっぱい 元気いっぱい」

## 一年の終わりに思うこと

校長 塚田 ゆかり

虐待やいじめ等の、子供を取り巻く様々な事件・事故が後を絶たず、心の痛みが消えることのない日々が続いています。報道等でその事実を目の当たりにするたびに、私たち大人は、そして学校や教育委員会・関係機関等は何ができるのか、今後どうしたらよいのか、考えずにはられません。先日御協力いただいた「いじめ」や「セクハラ」アンケートにも、学校や教職員の指導の在り方に対して様々な御意見をいただき、その一つ一つに襟を正しながら対応させていただいています。

創立41年目の平成30年度も最終月を迎え、学校はこの時期、一年間のまとめとともに次年度への準備を進めています。「夢いっぱい 花いっぱい 元気いっぱい」に加えて、来校者からは「笑顔いっぱい」の学校とのお言葉もいただき、「思い出いっぱい」のつくしにしていこうと、児童生徒・職員ともに力を尽くした一年であったと感じています。

先日は、高等部の入学者選考、小中学部は入学予定児童生徒の体験入学を行いました。つくしで「頑張りたいこと」はどんなことかな？ 楽しみですね。新小学部1年生をたくさん迎え、来年度も一段とにぎやかになりそうですよ。

2月末には各学部で「卒業生を送る会」を行い、多くの保護者の皆様にも御覧いただきました。各学部学年とも、趣向を凝らした見応えのある発表内容で、「思い出のアルバム」の各シーンとともに、感動の余韻に浸ったひとときに立ち会えたことを幸せに思います。また、全校集会では、児童生徒会新役員の認証式が行われ、役員の新旧交代がありました。このように、各学部でのいろいろな学習や行事・委員会活動を通して、先輩から後輩へと想いをつなげていくリレーのバトンタッチ、たすき渡しの時期であることを実感しています。そして、高等部7日（木）、小中学部14日（木）の卒業証書授与式へと続きます。卒業生の皆さんへの感謝の気持ちとともに、門出をお祝いし、みんなの心に残る一連の取組にしていきたいと思います。



保護者・関係機関の皆様方には、一年間、様々な御協力を賜り、ありがとうございました。子供たち一人一人にとって、「夢いっぱい 花いっぱい 元気いっぱい」の学校生活であったこと、そして教職員や学校を支えていただいたことに、改めて御礼申し上げます。子供の夢や目標の実現に向けて、子供自身がよりよく生きていくために、私たち大人が手を携えながらその支えとなれるよう、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 小学部

### もうすぐ卒業！もうすぐ進級！

三月に入り、今年度の学校生活も残りわずかとなりました。この一年間でたくさんの経験を積み重ね、心も身体もぐんぐん成長しました。真剣な表情で頑張っている顔、苦手な野菜を前に葛藤している顔、一つのことをやり遂げて自信に満ちた顔、先生に叱られたり友達と喧嘩したりして見せた涙顔…、毎日の生活や人との関わりの中で、とても豊かな経験ができました。

そして四月には、教室も担任の先生もクラスの友達も変わるかもしれません。お子さんにとっては、とてつもなく大きな環境の変化です。睡眠や排泄のリズムが崩れたり、給食を食べられなくなったり、気持ちが不安定になったり…。お子さんは、様々な様子で緊張や不安を伝えてくれます。ときには、「いつまで続くのだろう…?」と不安になるかもしれませんが、動じることなくど〜んと構え、『頑張ってるね!』『大丈夫!!』と見守ってあげてください。この一年間で、自分なりの方法で新しいことを受け入れようと頑張る力が確実に育っています。

元気いっぱい！素敵な笑顔満開で卒業・進級を迎えましょう。今年度もたくさんの御協力をいただき、本当にありがとうございました。  
〔小学部主事〕渡邊 久美



## 中学部

### 一年間を振り返って…

今年度の取組も、もうあとわずかで終わります。先日、初めて校外に出て実施した販売会で、初対面のお客さんに対して練習したとおりにはっきりとした声で挨拶ができるなど、この一年間、様々な面で生徒たちの活躍や成長した姿を見ることができました。

中学部では、『社会につながる適応力、応用力』を合い言葉に、一人でもできる、環境が変わってもできることを目指して、様々な活動に取り組んできました。生徒たちがのびのびと、自信をもって活動に取り組むためには、学校と家庭との連携が不可欠です。連絡帳のやりとり、登校・下校の練習や見守り、校外学習や行事への御協力等、本当にありがとうございました。

いよいよ新学年・新学部への進級・進学です。4月に、とびきりの笑顔で、一回り大きくなった生徒たちに会えることを楽しみにしています。一年間ありがとうございました。

〔中学部主事〕上見 篤史



## 高等部

### 『ありがとうございました』

2月7・8日に「つくしマーケット」を開催しました。寒い中、たくさんの方に御来場いただきました。二日間の開催で、予想を大きく上回るほどの、たくさんの売上げがありました。保護者の皆様には、登下校の御協力など、いろいろと御協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、今年度最後の販売会を、大盛況で終えることができました。

年度末です。卒業、進級と節目の時期になります。月並みですが、しっかりと今年度を振り返り、気持ちを新たに、次年度に向かって目標を再確認することはとても大事なことだと思います。是非、御家庭でも話題にいただき、お子さんと一緒に考えてください。

4月から社会人として羽ばたく3年生、一回りたくましさを増す1・2年生の活躍を期待しています。一年間、いろいろと御協力をいただきありがとうございました。

〔高等部主事〕安蒜 文雄

# 平成30年度 学校評価のまとめ

## I 学校評価アンケートの結果の考察 <保護者回収率；88.2%>

- ・保護者評価（肯定的評価）…「そう思う（良い）」と「ややそう思う」を併せた割合（%）  
20項目の評価項目の肯定的評価の平均 94.5%
- ・教職員評価（肯定的評価）…「よくできている」と「まあまあできている」を併せた割合（%）  
32項目の評価項目の肯定的評価の平均 94.1%

### 1 全体的傾向

全体的に見て、保護者、教職員ともに肯定的評価を得ている。  
保護者からの評価は、昨年度同様、高い評価を得ることができた。  
教職員からの評価は、昨年度より10%以上高くなっている。

### 2 教職員から

32項目の評価項目中23項目が90%以上の高評価であった。

今年度は、教職員用の学校評価以外に、嘱託職員用（調理員、介助員、学校技能員）の学校評価を作成し、それぞれの立場から評価できるようにした。今後も、職種を越えて全職員が学校の教育活動について考えられるように取り組んでいきたい。

肯定的評価の低い項目（70%未満）は、業務改善、業務の効率化に関わる内容だった。中でも、業務の効率化に関わる項目は、54.4%と全項目の中で最も低かったが、昨年度の45.8%より高い評価になった。政府が働き方改革を官民ともに推し進める中、教育現場の過重労働が社会問題となり、業務改善および業務の効率化は、喫緊の課題である。「子どもに関わる時間の確保」を最優先としながら、学校行事の精選と業務内容の整理を図りたい。また、「ノー残業デー」の完全実施、会議の効率化、校務分掌の適正化等の取組を通して、より働きやすい勤務環境を整えていきたい。

学校標準服については、制定から2年が経過した。小学部の教員から「分からない」との回答が多かったが、中学部は80%以上、高等部は90%以上と、肯定的評価が高かった。今後とも、学校標準服制定の意義については、周知徹底を図っていきたい。

今年度は、文部科学省指定の防災教育、摂食指導、キャリア発達の視点をもった教育内容、進路指導、不祥事根絶等の項目で、昨年度の評価を大きく上回った。各部署が連携を図りながら、研究・研修等を進めた結果、教職員一人一人の意識改革や指導力向上につながったものとする。来年度も引き続き、12年間の見通しをもった指導に努めていきたい。

### 3 保護者から

20項目の評価項目中18項目が90%以上の高評価であった。また、自由記述欄には、担任の温かい見守りと熱心な指導、子供の様子がよく分かる連絡帳、子供が楽しく安心して生活できる学校づくり、学校全体で児童生徒を見守る体制等、多くの肯定的な記述があり、教職員

一同の日頃の努力が評価され、とても励みとなった。

肯定的評価の低い項目（８０％以上９０％未満）は、スクールバスの運行と学校標準服についての二項目である。引き続き、丁寧な説明に努めていきたい。

施設設備の充実については、保護者・教職員ともに要望が多い。校舎の老朽化、和式トイレの改善、冷暖房等が挙げられている。この結果については、改善に向けて関係部署へ伝えていきたい。

今年度は、学校だよりや一斉メールなど情報発信の項目で高い評価を受けた。様々な教育活動における学校の考え方や工夫、児童生徒の様子を伝えることで、学校と保護者との連携がより深まったものとする。今後とも、本校の教育活動について御理解と御協力がいただけるように尽力していきたい。

#### 4 第3回開かれた学校づくり委員会から 【平成31年2月6日（水）開催】

##### （1）防災教育について

- ・高等部生徒が行ったHUG研修で、非常食用のアルファ米を食べる、水を飲むという体験は貴重だった。
- ・保護者もHUG研修を行った方がよい。防災への意識も変わるし、学校の取組もよく分かる。
- ・本校で行ったわかば園と合同の煙道訓練では、職員の方が「何かあったら、ここに来るんだよ。」と災害を想定して言葉かけができた。

##### （2）学校評価・学校参観について

- ・学校でパニック等を起こす児童生徒もいるだろうから、その大変さはよく分かる。授業等を見るたびに感動している。地域と共に学校を育てていきたい。
- ・自立活動、摂食指導に特化して学校がよくまわっている。特別支援コーディネーターもよくやってくれている。市としても協力していきたい。市内の小・中学校に授業を公開してほしい。

## II まとめ

学校評価の結果から、「夢いっぱい 花いっぱい 元気いっぱい」を合い言葉に、学校教育目標の実現に向けて取り組んできた、教職員の教育活動や校務遂行の創意工夫、一致協力・努力の成果を確認することができた。

一方で、学校評価の自由記述欄に貴重な御意見を頂いた。重要な案件については早急に対応し、改善できるところは、今年度中に各学部、分掌係等において着手し、他の事項についても、次年度の運営改善につなげていくよう計画していく。そして、今後も運営改善に向けた積極的な取組について、学校評価等による評価を行いながら、教職員はもちろん、児童生徒、保護者、地域、関係機関が一丸となって、更なる教育の質の向上と、保護者や地域から支持・信頼される学校づくりを目指していきたい。

学校評価集計結果(教職員)		※評価(肯定的評価)…「よくできている」と「まあまあできている」を併せた割合(%)					評価 30年度	評価 29年度
教 保	評価する項目	よくでき ている	まあまあ できている	あまりで きていな い	全くでき ていない	分から ない		
学校 経営	1 (1) 学校教育目標達成のために、学校経営方針や重点事項等を教職員が共通理解し、協働して取り組んでいる。	18	82	3	0	0	97.1	85.6
	2 (2) 教育環境を支える安全安心な学校づくりを目指し、各種マニュアルを見直し、日常的な点検や各種訓練を実施し、事故防止、防災、安全管理に努めている。	49	51	3	0	0	97.1	88.1
	3 (3) 児童生徒の生活の場として潤いのある環境となるように、施設・設備、備品等の計画的な整備、更新に努め、教室や廊下の掲示物・児童生徒の活動紹介等の創意工夫がなされている。	22	64	17	0	0	83.5	78.0
	4 適正化の観点から業務を見直す等、教職員一人一人が業務改善に取り組んでいる。	14	56	29	1	3	68.0	
	5 計画的な会議運営、話し合いや教材研究の時間の確保、退勤時刻(ノ残業デー)厳守等、適切な時間管理の下で業務の効率化を図っている。	8	48	46	1	0	54.4	45.8
	6 組織マネジメントに基づく機動力のある組織づくりを目指し、校務分掌は機能しやすく組織され、職務内容は明確である。	8	79	15	0	0	85.3	66.1
	7 困ったことや悩みが生じたときには、日頃から教職員相互で話し合ったり、相談したりして、課題解決につなげている。	29	67	4	0	2	94.1	83.9
	8 (8) 学校標準服(儀式的行事、通学等の基準となる服)・校章バッジがあることで、所属意識や上級学部(中学部・高等部)への進学の自覚を高める等の教育的効果を生んでいる。	19	64	11	1	7	81.4	69.5
	9 (9) 本年度からスクールバスが増車(1台増車して5台へ)になったことは、適切な学校運営につながっている。	59	41	1	0	2	97.1	88.1
学習 指導	10 (12) 個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づく、児童生徒の教育的ニーズに応じた学習活動を行っている。	30	70	1	0	1	98.0	85.6
	11 学級や学習グループで、児童生徒の課題や目標・手立て等をチームで十分話し合い、共通理解の下、授業実践を行っている。	30	65	7	0	1	92.2	83.9
	12 (15) 障害の状態や特性及び発達の段階等を踏まえた教材教具・補助具等の工夫、開発、整備に努めている。	28	67	7	0	1	92.2	80.5
	13 (16) 教育活動全体を通じて、体育・健康に関する指導を行うとともに、障害の状態や発達の段階、特性を的確に把握し、生涯にわたって運動に楽しむ資質や能力を育てている。	23	68	11	0	1	88.3	84.7
	14 (10) 安全な生活や行動をとることができるように、個に応じて危険を予測し、回避する能力の育成に努めている。	25	69	8	0	1	91.3	81.4
	15 (17) 摂食指導等の食に関する指導の全体計画を作成し、計画的、継続的、組織的な指導に努めるとともに、望ましい食生活を送ろうとする態度を育成している。	21	75	6	0	0	94.1	69.5
生徒 指導	16 (14) 一人一人のかけがえのない生命、人権を尊重し、児童生徒同士、教職員と児童生徒の関係性等豊かな人間関係をつくっている。	37	66	0	0	0	100.0	89.8
	17 いじめ防止基本方針に基づき、生徒指導体制を運用し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいる。	30	71	2	0	0	98.1	87.3
	18 (18) 道徳教育全体計画に基づき、道徳教育推進教師を中心に指導体制の充実を図り、全教職員が協力して日常的・計画的に道徳教育を推進している。	24	65	14	0	0	86.4	66.9
	19 (19) 日頃から家庭との連携に努め、児童生徒の気持ちや保護者の願いを大切に、児童生徒や保護者が相談しやすい関係づくりに努めている。また、児童・生徒および保護者の悩みや相談に誠意をもって丁寧に対応している。	44	57	2	0	0	98.1	89.8
キャ リア 教育	20 (20) キャリア発達の視点をもって、小・中・高等部12年間の教育内容(健康、基本的な生活習慣、社会性の育成等)を整理し、自立や社会参加を支援する取組をしている。	24	61	18	0	0	82.5	69.5
	21 一人一人に応じた計画的な進路指導を推進している。	31	59	9	0	1	90.0	78.0
交 流 及 び 共 同 学 習	22 共生社会を目指して、学校間や地域住民と一緒に活動する機会を設け、児童生徒・学校と地域との相互理解や連携に努めている。	28	67	8	0	0	92.2	85.6
	23 (5) 交流及び共同学習や居住地校交流の意義を保護者と十分に共通理解し、児童生徒の成長や地域での本人理解となる活動内容となっている。	28	69	5	0	1	94.2	86.4
地 域 連 携	24 (6) 日常の教育活動を積極的に公開するとともに、「学校だより」等の各種たよりの配布やホームページ、一斉メールの活用で、学校の様子や必要な情報を適切に発信している。	39	62	2	0	0	98.1	86.4
	25 (7) 保護者・地域と連携し、特別支援教育に関する理解・推進に努めるとともに、開かれた学校づくりとなるように努めている。	31	68	4	0	0	96.1	89.8
	26 学校は、保護者・地域・関係機関の声に応え、地域連携、特別支援教育のセンター的機能(地域支援、関係機関との連携、教育・就学相談、公開・見学会等)を果たしている。	37	63	3	0	0	97.1	89.8
研 究 ・ 研 修	27 教職員一人一人の意見や考えが尊重され、個性や持ち味を生かした教育活動や学校運営が展開されている。	19	70	12	1	1	86.4	75.4
	28 研究計画の下に授業研究を展開し、その成果が実践に反映されている。	26	66	7	0	3	90.2	83.1
	29 自立活動(摂食・体の動き等)等の研修を通して、児童生徒一人一人の指導上必要な知識や技能を習得し、自らの指導力・専門性を高めている。	25	73	4	0	0	96.1	82.2
不 祥 事 防 止 等	30 (10) 児童生徒の安全面での配慮や事故の場合の対応を適切に行っている。	42	58	3	0	0	97.1	90.7
	31 個人情報の管理や児童生徒への対応等を適切に行い、不祥事根絶に努めている。	36	66	1	0	0	99.0	88.1
	32 (11) 電話や外来者に対し、丁寧な対応ができている。	47	56	0	0	0	100.0	90.7



学校評価集計結果(保護者)										
※評価(肯定的評価)…「そう思う(良い)」と「ややそう思う」を併せた割合(%)										
	保	教	評価項目	そう思う (良い)	ややそ う思う	あまり そう思 わない	思わな い(良く ない)	分から ない	評価 30年度	評価 29年度
学校 経営	1	(1)	学校は、学校教育目標達成のために、学校経営方針や重点事項等を保護者に分かりやすく伝えている。	128	55	3	2	2	96.3	95.7
	2	(2)	学校は、教育環境を支える安全安心な学校づくりを目指し、防災訓練(避難訓練)等を実施し、災害時に備えた対応を行っている。	153	41	1	1	0	99.0	96.8
	3	(3)	学校は、児童生徒の生活の場として潤いのある環境となるように、校内の施設・設備の安全に配慮し、児童生徒の事故やけが防止に対して適切な対応に努めている。	127	57	3	5	3	94.4	95.2
	4		学校は、教室や廊下の掲示物・児童生徒の活動紹介等に創意工夫するとともに、清掃等の校内美化に努めている。	145	45	6	0	0	96.9	97.9
	5	(22)	学校は、共生社会づくりを目指して、交流及び共同学習や居住地校交流を積極的にに行い、児童生徒・学校と地域との相互理解や連携に努めている。	133	56	3	1	3	96.4	95.2
	6	(23)	学校は、学校だよりやホームページ、一斉メール等の活用で、学校の様子や必要な情報を適切に伝えている。	114	73	5	1	3	95.4	91.5
	7	(24)	学校は、「開かれた学校づくり」を目指して、参観日や学校行事、学校公開等を計画的に実施している。	154	40	0	1	1	99.0	96.8
	8	(7)	学校は、学校標準服(儀式的行事、通学等の基準となる服)・校章バッジを作ったことで、所属意識や上級学部(中学部・高等部)への進学の自覚を高める等の教育的効果を生んでいる。	104	60	4	1	26	84.1	85.1
	9	(8)	学校は、今年度よりスクールバスを5台に増車して、円滑な運行を行っている。	121	45	7	1	22	84.7	78.7
	10	(29)	学校は、児童生徒の安全面での配慮や事故の場合の対応を適切に行っている。	139	41	6	4	6	91.8	94.1
	11	(31)	学校は、電話や外来者に対し、丁寧な対応ができています。	146	42	4	3	1	95.9	91.5
学習 指導・ 生徒 指導	12	(9)	学校は、個別の指導計画に沿って、お子様の特性や発達の段階に応じた一人一人の良さや可能性を大切に教育活動を行っている。	153	33	2	4	0	96.9	98.4
	13		学校は、専門的知識をもって学習活動を計画し、丁寧に指導・支援を行っている。	136	49	4	3	3	94.9	95.7
	14	(15)	学校は、適切な障害理解の下に、お子様の課題に応じた生命や人権に配慮した指導・支援や配慮を行っている。	139	41	2	4	7	93.3	96.3
	15	(11)	学校は、お子様の課題を的確に把握して、教材教具を工夫し、分かりやすく満足できる内容の授業を行っている。	149	39	4	1	2	96.4	95.2
	16	(12)	学校は、お子様が身体を動かすことや運動が好きになるような取組を行っている。	146	42	2	0	4	96.9	96.3
	17	(14)	学校は、給食指導(摂食指導を含む)の充実を図り、望ましい食習慣の形成や食育について、家庭との連携に努めている。	135	45	5	1	9	92.3	94.7
	18	(17)	学校は、共に活動する中で、友達と仲良くしたり、協力して活動したりする心の育成に努めている。	150	41	2	1	1	97.9	95.7
	19	(18)	学校は、お子様の気持ちや保護者の願いを大切に、保護者が相談しやすい学級・学年・学部・学校経営を行っている。	146	38	6	4	1	94.4	96.3
	20	(19)	キャリア教育(自分でできることを増やし、自立や社会参加に望ましい生活習慣や態度を育む)の視点から、面談や進路に関する説明会等は、適切に行われている。	127	54	3	2	9	92.8	92.6



# 進路支援

## 進路指導部

### 高等部3年生34名の進路が決定しました!!

#### 生活介護事業所 16名

〈松戸市〉 かりん (3名) 風  
 ライフワークみらいネクスト (4名)  
 ★アウーのアトリエ松戸中和倉  
 〈柏市〉 沼南育成園 オリオン  
 ばんぶーはうす あおば作業所  
 〈鎌ヶ谷市〉 みちる園 (2名) 友和園

在宅者 1名

#### 就労移行支援事業所 2名

〈松戸市〉 ★Melk 新松戸駅前オフィス  
 〈鎌ヶ谷市〉 ひゅーまにあ鎌ヶ谷

#### 就労継続支援B型事業所 7名

〈松戸市〉 こころぼまつさと  
 ★ハッピーワーク松戸 あるば  
 〈柏市〉 沼南育成園  
 〈鎌ヶ谷市〉 楓 友和園 きらら

★は30年度新規設立事業所

#### 企業就労 8名

(国法人) 東京大学柏地区事務センター (株)サンベルクス シャネル合同会社  
 (株)メイテックビジネスサービス (2名) 日本郵便(株)船橋郵便局  
 日鉄住金鹿島ビジネスサポートわーくはぴねす農園松戸ファーム (株)タジマヤ

〈主な仕事内容〉施設内外の環境整備作業、事務補助作業、青果の計量・袋詰め、  
 商品の品出し・陳列、パルティグッズの製作(紙すき)

### 今年度を振り返って・・・「高3の皆さん、頑張りました！」

生活介護事業所の利用については、実習を終えてからも試行錯誤が続くケースがありました。事業所側の受入れの都合や他校希望者との競合、また、実習に行ってみて分かった、送迎・利用の時間や施設環境との適合性などで迷う場合がどうしても出てきます。それらの諸々な事実に向き合いながら最善の進路先を探り、卒業を前に一人一人の進路先を決めることができました。

就労系のサービスは、幸いにして、積極的に利用者を募集しているところが多かったので、割とスムーズに決まっていた印象です。もちろん、本人・保護者・担任・進路担当者で、慎重に事業所とのマッチングを考えた上での進路選択です。今後も、更に力を伸ばしながら働き続けてほしいものです。

企業就労の状況としては、近隣地域に障害者雇用を考える企業が増えて追い風になっているので、本人に「働きたい」という意欲があり、働くための基本的な力が身につけている生徒であれば、一般企業で働ける時代になっています。今年度の高3生徒8名の場合もそうでしたが、高1・高2の実習先企業でも、本校生徒の真面目に仕事に向かう態度や誠実さなどが高く評価され、そのことが進路先決定に大きく結びついています。

進路先を考える上で何を重要視するかは、各御家庭やお子さんの実情によって全く違ってくるので、少しでも早いうちから情報を数多く収集して候補先をリストアップし、必要な時期が近づいたら、学校や事業所と繰り返し相談しながら絞り込んでいく必要があります。どの進路先を選ぶ場合も、人と人が出会い、関わり合いながらの取組ですので、毎日の前向きな生活の積み重ねを大事にしていましょ。頑張れ、つくしっ子!! [進路指導主事] 平野 明美

3月行事予定			平成31年度 4月行事予定		
1	金	第3回常任委員会 標準服採寸(在)	1	月	学年始め休業 ~5日
2	土	走々クラブ 和太鼓クラブ活動日	2	火	
3	日		3	水	
4	月	小中 入学説明会 PTA会計監査(卒)	4	木	
5	火	高 卒業式予行練習	5	金	
6	水	㊶	6	土	
7	木	A/C 高等部 卒業証書授与式	7	日	
8	金	B 職員研修会	8	月	C 始業式
9	土		9	火	C
10	日		10	水	C 小・中学部 入学式
11	月	小中 卒業式予行練習	11	木	㊶ 高等部 入学式 * 新入生は式後下校 在校生は通常日課/給食開始
12	火		12	金	
13	水	㊶ 高等部 入学説明会AM	13	土	走々クラブ 和太鼓クラブ活動日
14	木	C/A 小・中学部 卒業証書授与式	14	日	
15	金	㊶ 在校学年保護者面談~20日	15	月	
16	土	走々クラブ活動日	16	火	
17	日		17	水	㊶ 小1平常日課開始
18	月	㊶ PTA会計監査(在) 小低 保護者会	18	木	
19	火	㊶ 小高 保護者会	19	金	全校保護者会 高3 進路保護者会
20	水	㊶ 給食最終日	20	土	走々クラブ活動日
21	木	春分の日	21	日	
22	金	C 修了式	22	月	
23	土		23	火	B 家庭訪問、保護者面談①
24	日		24	水	B 家庭訪問、保護者面談②
25	月	学年末休業~31日	25	木	B 家庭訪問、保護者面談③
26	火		26	金	B 家庭訪問、保護者面談④
27	水		27	土	
28	木	離任式	28	日	
29	金		29	月	昭和の日
30	土		30	火	国民の休日
31	日				

※31年度の予定は  
変更になる可能性  
があります。  
4月当初に出され  
る月予定で御確認  
ください。

### 自立活動係からの お願い

春休みが近づいてき  
ました。進級に向けて  
新しい上履きを購入す  
る方もいると思います。  
その際、学校での様  
子や靴の選び方などに  
ついて、事前に担任に  
相談してみてください。  
児童生徒は毎日6時  
間、上履きを履いて活  
動します。靴は履いて  
いる人の足を守ってくれ  
る大切な生活用具で  
す。  
「どういう靴にすればよ  
いか？」はとても重要で  
す。

\* 平成30年度の『学校だより』は、今号が最終号です。一か月後には、もう新年度が始まります。来年度の一年間(12か月)は「平成31年度」ですが、5月からは年表示が新元号に変わります。学校からの文書も「平成31年度 ○○のお知らせ・・・◎◎元年5月7日」となるわけです。慎重な確認が必要になりそうです…。